

大型車の車輪脱落事故防止対策について

令和8年9月

国土交通省物流・自動車局

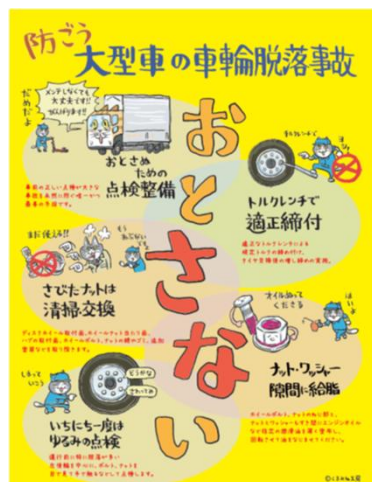
キャンペーン(令和7年10月1日～令和8年2月28日)の取組事例及び指導等強化

より効果的なポスター等による周知啓発

- 適切なタイヤ脱着作業を啓発する動画を公開
- タイヤ脱着のポイントが記載されたポスター及びチラシを用いた周知・啓発の実施



動画での周知啓発



おとさないポスター

街頭検査等によるホイール・ナット緩みの確認

- 街頭検査において、大型車の運転者等に対し適切なタイヤ脱着作業の啓発やホイール・ナットの緩みの確認を実施
- 実施状況等について、運輸局公式Xにポスト



更なる周知・啓発に向けた取り組み

- これまでの取り組みに加え、
- 冬用タイヤに履き替える最盛期を迎える前の8月に独自のチラシを作成し、周知・啓発を開始
- 冬用タイヤに履き替える11月～12月において、全国のタイヤショップ、整備工場などに対し周知・啓発すべく、対面、郵送等によるローラー作戦を実施
- 関係団体と連携し、あらゆる機会を捉えて街頭点検などを実施
- 合計175,802件の周知啓発活動を実施

- ◆ 関係団体、各運輸局等と連携して、「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」を実施する等、大型車の車輪脱落防止対策を推進
- ◆ これまで接触が困難であった比較的小規模のタイヤ專業事業者に対し、関係団体の協力のもと、冬用タイヤへの交換時期を迎える前に注意喚起チラシを封書で送付
- ◆ 令和7年度に実施したシミュレーションによる解析調査において、軸力低下の進行が左輪側よりも右輪側が早いという結果が得られ、実車による実証実験結果とは一致しなかった。この差異の要因として、走行条件の設定の相違が考えられるため、今年度は走行条件の設定を見直し、引き続きシミュレーションを用いた解析調査(※)を実施

※令和8年度解析調査概要

- 令和7年度に実施したシミュレーションの結果を基に、旋回や悪路といった条件でシミュレーションを実施
- 実車を用いて実施した実証実験とシミュレーションの相関性について検証を実施
- 新たに逆ねじモデルを作成し、左右輪でねじ方向を逆とした場合の挙動についてシミュレーションを実施

キャンペーンも含めて啓発を継続

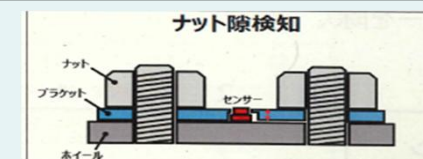
- タイヤ脱落事故の影響や適切なタイヤ脱着作業について、動画の公開による継続周知
- ポスターやチラシのほか、デジタルサーネージ、運輸局公式X等も活用した周知・啓発
- 地方運輸局等による街頭点検でのホイールナットの緩み確認、各種研修等での事故防止対策の周知・啓発
- 関係団体と連携した事故防止対策の周知・啓発

先進安全自動車(ASV)導入補助

- 後付けタイプ(下図参照)
 - 新車搭載タイプ(一部メーカーにおいて標準装備開始)
- 以上の車輪脱落予兆検知装置に対し、令和8年6月30日より導入補助を公募中

車輪脱落予兆検知装置(後付けタイプ)

ナットとホイールの間にセンサーを挟み、ナットのゆるみに伴うナットとホイールの隙間を検知し、運転者席に警告を表示



ナットに、センサーのついたナットキャップを取付け、ナットのゆるみによるキャップの回転を検知し、運転者席に警告を表示

